

商店街レポート(中河内地域)



商店街名	市	事業名	ページ数	通し番号
八尾市商業協同組合 (ファミリーロード)	八尾市	SNSを学んで自らの店舗と商店街イベントをPRし盛り上げる & 昔の商店街を懐かしむ「写真パネル展」の実施	P1	R6-34
八尾市商業協同組合 (ファミリーロード)	八尾市	イベントではなくムーブメント、残りの364日に繋がる1日に。「ちょっと、そこまで。」を開催	P2	R6-48
国分西商店会	柏原市	地域をつなぐデジタルスタンプラリーによる「国分」エリアのリ・ブランディング!	P3	R6-05
布施商店街連絡会	東大阪市	福娘コンテストのオンライン配信と 「福娘が選ぶお店8選!街歩きMAP」の制作・発信	P4	R6-20

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
八尾市商業協同組合 （ファミリーロード）	所在地：八尾市 最寄駅：近鉄八尾駅から約400m 店舗数：31店舗	大阪府／昭和のパネル展や近隣店舗集結で地域に親しむ＜モデル創出事業＞(R6.1.15) 大阪府／「お逮夜市」PR SNSチャレンジで輪くモデル創出事業＞(R5.11.24) ほか
〈事業名〉		〈過去の取り組み〉
SNSを学んで自らの店舗と商店街イベントをPRし盛り上げる　& 昔の商店街を懐かしむ「写真パネル展」の実施		■大阪府　令和5年度大阪府商店街等モデル創出普及事業
〈事業概要〉		

- SNSビギナーの商店街店主向けにSNS活用講座を開催。イベントや歳末セールに向けて店主自らSNSを活用してPRにチャレンジ！
あわせて昔の商店街を懐かしみ親しんでもらう昭和の写真パネル展を開催。懐かしい商店街の様子を振り返り、家族3世代が訪れるきっかけ作りを実施。

〈課題・現状〉	〈取り組み内容〉	〈成果〉
① 3世代に愛される商店街づくり・来街者増加 ・昔からの馴染みのお客さんにも新しい若い世代にも愛される、3世代で訪れる商店街になりたい ・商店街や地域に愛着をもってもらい、商店街を地域コミュニティの場としたい	■「バックToザ・昭和ファミリーロードにお出かけしよう」イベント実施 ・商店街の自主イベント「お逮夜市」と抽選会にあわせ、商店街内に、 昔の商店街や地域の写真パネルを掲示し、地域の方が気軽に立ち寄り、3世代で昔を懐かしめるきっかけ作り を実施。 ・写真は商店街や地域の協力で収集。 写真の収集を通じて地域連携強化を図った。	・パネル展は、予想どおり昔の商店街を懐かしむ3世代の会話や活気を取り戻したいという声に来場者・組合員から聞こえてきた。 商店街での取組に対しモチベーションがあがった。 ・地域コミュニティの場として皆が集える場所のイメージが描けた。 ・イベント全体での来街者数約4,000名、 来街者へのアンケート結果によると満足度は75% であった。
② SNS活用の強化 ・SNSを使って情報発信をしたい ・SNSに不慣れな店主のために講座を開きたい ・商店街の来街者増加を図りたい ・若者やファミリー層を呼び込みたい ・SNS発信に興味はあるが、店主らが自力で学ぶのは難しい	■ SNSビギナー店主向け活用講座開催&SNS活用チャレンジを実施 ・SNSに不慣れな店主向けにSNS活用講座を実施。 地元の大学生が伴走支援 に入り、 店主ごとの到達度合いに応じたフォロー を実施、店主のSNSへの苦手意識払しょくに努めた。講座を受けた参加店主らは、①のイベント当日までに、店舗PRやイベント告知を来街者向けに発信し、イベント来街促進を図り、SNS活用チャレンジに取り組んだ。 ■ 商店街公式LINE活用の強化 ・LINE友達登録をしてくれた来街者に抽選会1回参加などの付加価値をつけ、登録者増加をめざした。	・SNSに苦手意識を持っていた店主も 自分で投稿できるようになり 、自店の商品を伝える土台作りができた。 ・SNS講習をきっかけに、普段は営業時間等で接点の少ない 他店と交流し、互いにSNSをフォローし接点を作れた 。 ・Instagram新規登録店舗数:5店舗、 ブラッシュアップ店舗:7店舗、総獲得フォロワー数:約400人 ・商店街公式LINE友だち登録数は0人から増え、現在は約950人まで増加 (R6年11月現在)

〈商店街のコメント〉

- 短期的に明確な目的をもって苦手なSNSに取り組むことで、「これどうやるの？」など積極的な質問が出てきたことに驚きました。今回の取組をキッカケに自店の商品や商店街の日常を各店舗で発信することで、商店街全体の活気に繋がることに期待したいです。パネル展では、昔はよく買い物にいられていた方が久しぶりにいられていて懐かしむ姿が印象的な反面、もっと商店街として頑張りたいという気持ちになりました。当日来場していた若者との接点もできたので、過去に商店街で企画していた催しを若者と再現してみるのも面白いと思いました。

〈写真〉	〈連携・協力〉
 R5年 SNS活用講座資料	■主催：八尾市商業協同組合 ■協力：大阪経済法科大学、近畿大学
 R5年 実施SNS講座	〈HP・SNS等〉 ■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/family-r/ ■八尾市商業協同組合 公式HP https://family-r.com/ ■八尾市商業協同組合 Instagram https://www.instagram.com/1127.family/
 R6年 イベントチラシ	

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
八尾市商業協同組合 （ファミリーロード）	所在地：八尾市 最寄駅：近鉄八尾駅から約400m 店舗数：31店	大阪府／昭和のパネル展や近隣店舗集結で地域に親しむ＜モデル創出事業＞(R6.1.15) 大阪府／「お逮夜市」PR SNS チャレンジで輪＜モデル創出事業＞(R5.11.24) ほか
〈事業名〉		〈過去の取り組み〉
イベントではなくムーブメント、残りの364日に繋がる1日に。「ちょっと、そこまで。」を開催		■大阪府 令和5年度大阪府商店街等モデル創出普及事業
〈事業概要〉		

■八尾市内の素敵なお店が集まり近所の人と出会う日、「ちょっと、そこまで。」を開催。暮らしの結び目をほぐよう、地域の人が地域の素敵なお店を知り、そのお店を日常的に使うようになるキッカケの場。お店同士が繋がり、地域がつながり、商店街へ来るきっかけとなり、素敵なヒトに出会う場。イベントではなくムーブメント、「残りの364日に繋がる1日に。」をコンセプトに、「ちょっと、そこまで行ってくるわ」と言える場が増え、顔の見えるヒトたちと近所を豊かにできる取り組みを実施。

〈課題・現状〉	〈取り組み内容〉	〈成果〉
■商店街をはじめ八尾市内のお店の認知向上 ・昔の賑わいを取り戻したい ・人と人との繋がりを形にしてイベントを実施したい ・商店街を日常的に使えるきっかけを作りたい ・お店同士の繋がりの場を作りたい ■空き店舗の活用 ・地域と連携して空き店舗対策を講じたい ・商店街内不動産会社とお寺が、周辺の空き家を活用し、「古くて新しい」場所と文化をつくる「MONZEN1607」プロジェクトを実施しており、商店街も連携して取り組みたい。	■八尾市内の素敵なお店が集まる「ちょっと、そこまで。」を開催 ・商店街と八尾天満宮、MONZEN1607が連携し、空き店舗前を活用したムーブメントとしてマルシェを開催。 ・商店街店舗と八尾市内の素敵なお店が出店。商店街以外の出店者には、商店街やMONZEN1607の空き店舗前に屋台を設置し、販売やワークショップを行い軒を連ねた。 ・多くのマルシェ型イベントでは出店増加・規模拡大を目標とすることが多いが、「ちょっと、そこまで。」は、マルシェ出店を機に空き店舗に新たな良い店主が入居し、最終的には出店スペースがなくなることを目標にしている。ご縁が繋がった出店者、既存の組合員、未来の組合員とその時に合う形に変えながら、取り組んでいる。 ・告知は商店街のSNSを使用しつつ、各出店者がSNS告知や日常のお客様との関係性でPRすることで、集客効果が高くなった。	■R5年開催では、八尾市内の出店者数50店舗、商店街29店舗が参加。来場者数は約3500人。 ■R6年開催では、八尾市内の出店者数70店舗、商店街27店舗、近隣店舗3店舗が参加。来場者数は約4000人。 ・出店者に関しては特別募集を行っていないが、活動の認知が広がっており、多くの問い合わせが来るようになったことから、出店者数は年々増加している。 ・今回は出店者の情報を掲載した冊子も用意し、約3000部を来場者に配布したことで、コンセプトである「残りの364日に繋がる1日に。」をより意識することに繋がった。今後も引き続き、継続してムーブメントを実施する予定。

〈商店街のコメント〉

■参加人数も大切ですが、会いたい人に会いにきてるといのも大切。普段は別の場所で八尾の風景を作っている素敵なお店さんや人と「ちょっと、そこまで。」という場の風景を一緒に作ることができて本当に嬉しいです。商店街とマチと建物と空間が大好きで、いつもは空白だと感じる場所も余白となり小さな主語が集まり生まれていく八尾の未来の風景を感じることができました。出店スペースをなくすことを目標に今後も継続して商店街と地域を盛り上げていきたいです。

〈写真〉	〈連携・協力〉				
 R5年 イベントチラシ  R5年 イベント風景  R6年 イベントチラシ	■主催：八尾市商業協同組合 ■協力：八尾天満宮、MONZEN1607 <tr> <th colspan="2">〈HP・SNS等〉</th></tr> <tr> <td colspan="2"> ■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」 商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/family-r/ ■八尾市商業協同組合 公式HP https://family-r.com/ ■ちょっと、そこまで。 Instagram https://www.instagram.com/yaobuylocal/ </td></tr>	〈HP・SNS等〉		■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」 商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/family-r/ ■八尾市商業協同組合 公式HP https://family-r.com/ ■ちょっと、そこまで。 Instagram https://www.instagram.com/yaobuylocal/	
〈HP・SNS等〉					
■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」 商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/family-r/ ■八尾市商業協同組合 公式HP https://family-r.com/ ■ちょっと、そこまで。 Instagram https://www.instagram.com/yaobuylocal/					

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
国分西商店会	所在地：柏原市 最寄駅：近鉄大阪線 国分駅 店舗数：33店	・大阪府／デジタルスタンプラリー活用で大盛況の「おいな〜れ国分祭」(1)〈モデル創出事業〉(ndl.go.jp) (R5.2.24) ・大阪府／デジタルスタンプラリー活用で大盛況の「おいな〜れ国分祭」(2)〈モデル創出事業〉(ndl.go.jp) (R5.2.24) ほか
〈事業名〉		〈過去の取り組み〉
地域をつなぐデジタルスタンプラリーによる「国分」エリアのリ・ブランディング！		■大阪府 令和4年度大阪府商店街等モデル創出普及事業
〈事業概要〉		

■国分西商店会が主催してきた、地域の恒例イベント「おいな〜れ国分祭」に合わせて、デジタルを活用したスタンプラリーを実施。地域の諸団体、企業、関西福祉科学大学、大阪教育大学の協力のもとに、柏原市の公認アプリを活用して企画。国分エリアの店舗や歴史的な名所をめぐることで、地域の魅力を知りながらスタンプを獲得できるデジタルスタンプラリーを開催し、周辺エリアとの連携を強めながら、従来より広範囲への魅力発信に取り組んだ。

〈課題・現状〉	〈取り組み内容〉	〈成果〉
・コロナ禍で人通りが途絶え、稀薄になってしまった街なかの交流を再生させたい。 ・地域の企業、大学、諸団体間で交流して、共住するまちの良さを再発見・再共有したい。 ・商店街だけではなく、地域の歴史的な名所などの魅力についても情報発信したい。 ・地域の恒例イベントを従来よりも盛り上げたい。 ・商店街でデジタルを活用した実績が無く、そのノウハウを獲得する機会を作りたい。	・国分エリアの店舗や歴史的な名所を巡ってデジタルスタンプを集め、オンライン抽選会に参加できるスタンプラリーを開催。 ・スタンプラリーのスポットは商店会店舗の他にも、地域のサポーターの協力により魅力ある店舗を選定。関西福祉科学大学の学生は、地域企業を選定。柏原歴史資料館と大阪教育大学の学生は、国分エリアの歴史を学べる史跡など、多彩なスポットを選定した。 ・GPSやQRコードを活用しながらスポットを設定し、商店街周辺を回遊できるようなスタンプラリーコースを作成した。 ・デジタルスタンプラリー期間を11月1日～11月19日に、「おいな〜れ国分祭」開催日を11月19日に設定し、スタンプラリー賞品引き換えを「おいな〜れ国分祭」イベント会場で行うなど、相乗効果によって参加者が増えるように工夫した。	・デジタルスタンプラリーには約500名が参加。地域のサポーターからは、「歴史ある国分の魅力を発信する機会をいただいた」、スタンプラリーの参加者からは、「自分の知らなかった新しい発見ができた」「スタンプラリーをしながらウォーキングするのは健康的でよかった」などの好評化をいただいた。 ・アプリを活用して地域の情報を発信するプラットフォームができた。 ・スタンプラリー賞品引き換え会場を併設した「おいな〜れ国分祭」イベントにも、地域からより多くの人々が参加した。 ・国分エリアの団体、企業、近隣大学がつながるきっかけとなった。

〈商店街のコメント〉

- アプリを活用したデジタルスタンプラリーは大盛況でした。今後は、アプリの機能を充実させ、スタンプラリーのゲーム性を高めたり、国分の魅力発信に役立っていきます。
- デジタルスタンプラリーはどれだけの人が参加してくれるか不安はありましたが、予想以上の方に参加いただき、高齢の方からも好評の声をいただきました。また、地元の企業や団体、学生も積極的に協力してもらったことで、充実したスタンプラリーが開催できました。この事業を実施し得た経験で、現在も地域とのつながりを増やせるイベントを企画しています。

〈写真〉	〈連携・協力〉
 R4年度デジタルスタンプラリー告知ポスター  R4年度「おいな〜れ国分祭」会場でのラリー賞品引き換え	■デジタルスタンプラリー実施運営協力 柏原歴史資料館 関西福祉科学大学 大阪教育大学 〈HP・SNS等〉 ■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/kokubunishi/

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
布施商店街連絡会	所在地：東大阪市 最寄駅：近鉄奈良線・大阪線布施駅すぐ 店舗数：450店	大阪府／布施戎福娘コンテストの開催！～ライブ配信で布施の文化を広く発信～＜モデル創出事業＞（ndl.go.jp）(R3.12.4) 大阪府／福娘が選ぶお店8選！若者へ向けて商店街の魅力を発信＜モデル創出事業＞（ndl.go.jp）(R3.11.18) ほか
〈事業名〉		〈過去の取り組み〉
福娘コンテストのオンライン配信と「福娘が選ぶお店 8 選！街歩きMAP」の制作・発信		■大阪府 令和3年度大阪府商店街等モデル創出普及事業
〈事業概要〉		

■若者や女性客に商店街の魅力を発信するため、布施の文化として40年以上続く布施戎の福娘コンテストで選ばれた福娘がおすすめする商店街界隈のお店を紹介した「街歩きマップ」を制作。また福娘コンテストの「オンライン配信」や、製作した「街歩きマップ」も配信する商店街公式LINEアカウントへリンクする「QRコード入りのオリジナルマスク」を制作するなど、ICTを活用して文化と商店街の情報発信強化に取り組んだ。

〈課題・現状〉	〈取り組み内容〉	〈成果〉
①商店街の認知向上 ・若者や女性客を商店街に呼び込みたい。 ・商店街の魅力を発信したい。 ・例年開催される福娘コンテストの福娘に、コンテスト以外でも活躍の場を用意したい。	・「福娘が選ぶお店8選！街歩きMAP」の制作 ・商店街に隣接する布施戎神社の福娘が選ぶ、布施界隈のオススメのお店を紹介する冊子を制作。店舗の基本情報だけでなく、福娘のオススメの商品や食べ方などを写真入りで紹介。 ・商店街店舗や近隣施設で冊子を配布するとともに、データ版を商店街WebサイトやLINE、Facebookで配信した。	・「街歩きMAP」の配布・配信後には、商店主からは「マップ片手に商店街を歩く若者が増えた。」や「若いお客さんの来店が増えた」などの反響の声を頂いた。 ・福娘の活躍により、近隣の大学にも商店街の魅力を発信することができ、若者の来街者が増加した。
②40年以上続けている福娘コンテストの普及活動 ・コロナ禍でもコンテストを継続するため、デジタル活用に取り組みたい。コンテストの生配信を行いたい。 ・あわせて、当日来場できない方や、地元以外の方にも福娘コンテストを楽しんでもらいたい。 ・SNSを活用して情報発信をしたい。	・福娘コンテストの生配信をYouTubeで実施。布施戎神社と福娘を全国に広く発信した。 ・コンテスト開催前には商店街SNSで情報発信を行い、地元の方はもちろん、地元以外の方にも広く知ってもらえるように工夫した。 ・商店街公式LINEにリンクする「QR入りオリジナルマスク」1,000枚を制作。会員店舗に配布し、LINE友だち登録増加に取り組んだ。	・SNSを活用して情報発信を行ったことにより、前年よりも福娘コンテストの参加者が増加し、広く認知された。 ・福娘コンテストの「オンライン配信」は、R3年度を皮切りに毎年実施しており、視聴回数は3,100回を超えている。R6年度も11月にオンライン配信を予定している。 ・QR入りオリジナルマスクを配布したことによって、LINEの友だち登録者数は2,870人と増加し続けている。(R6.9月現在)
〈商店街のコメント〉		

■コロナ禍で、商店街が得意としてきた人を集めることができなくなっていた中で、初めての試みとなる「福娘コンテスト」のライブ配信ができ、多くの人にご視聴いただき、布施戎神社や福娘といった布施の文化・魅力を広く発信できたことは大変有意義でした。また、SNSを活用したことで、布施のまちには何十年も続く文化があることを、地元以外の人にも広く知ってもらえるきっかけになりました。

■これからも、周辺の大型店や布施戎神社をはじめとした地域の様々な団体と協力し、布施のまちの活性化に取り組んでいきたいと考えています。

〈写真〉	〈連携・協力〉
 R3年度 福娘が選ぶお店8選！街歩きMAP	■主催：布施商店街連絡会 ■後援：東大阪市、東大阪商工会議所 ■協賛：布施戎神社
 R5年度 福娘コンテストの「オンライン配信」YouTube	〈HP・SNS等〉
 R5年度 2024布施戎福娘決定！お披露目パレード YouTube	■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/fuse/ ■布施商店街連絡会 HP https://fuse.osaka.jp/ ■布施商店街連絡会 facebook https://ja-jp.facebook.com/fuserenrakukai/